

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

モーツァルトの交響曲の中でも人気の傑作

《プラハ》

村上春樹『1Q84』で爆発的な話題に! ヤナーチェクの絢爛豪華な響き

《シンフォニエッタ》

～土日午後に楽しむ珠玉の4曲～

モーツァルト: 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲

MOZART: "Don Giovanni" Overture

モーツァルト: 交響曲第38番 二長調 K.504 「プラハ」

MOZART: Symphony No. 38 in D major, K. 504 "Prague"

プーランク: ピアノ協奏曲

POULENC: Piano Concerto

ヤナーチェク: シンフォニエッタ

JANÁČEK: Sinfonietta

読売日本交響楽団 第222回土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 222

2019年 **11月23日** (土・祝) **14時**開演
東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)
Saturday, 23rd November 2019, 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre
(9月30日まで) S¥7,500 A¥5,500 B¥4,500 C¥4,000
(10月1日以降)
S¥7,600 A¥5,600 B¥4,600 C¥4,100

読売日本交響楽団 第222回日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series No. 222

2019年 **11月24日** (日) **14時**開演
東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)
Sunday, 24th November 2019, 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre
(9月30日まで) S¥7,500 A¥5,500 B¥4,500 C¥4,000
(10月1日以降)
S¥7,600 A¥5,600 B¥4,600 C¥4,100

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター **0570-00-4390**
<https://yomikyo.or.jp/> (10時～18時・年中無休)

©Elisa Haberler

ベルリン・フィルやウィーン国立歌劇場で活躍
欧州で熱い注目を浴びるチェコの俊英

トマーシュ・ネトピル (指揮)

Conductor = TOMÁŠ NETOPIIL

バイエルン放送響と共演し、BBCプロムスに出演
息をのむような美しい音で魅了するフランスの名手

アレクサンドル・タロー (ピアノ)

©Marco Borggreve Piano = ALEXANDRE THARAUD

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

共催: 東京芸術劇場 (公益財団法人 東京都歴史文化財団)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

トランペット12本の華麗なフィナーレ! 〈シンフォニエッタ〉の刺激的な響き

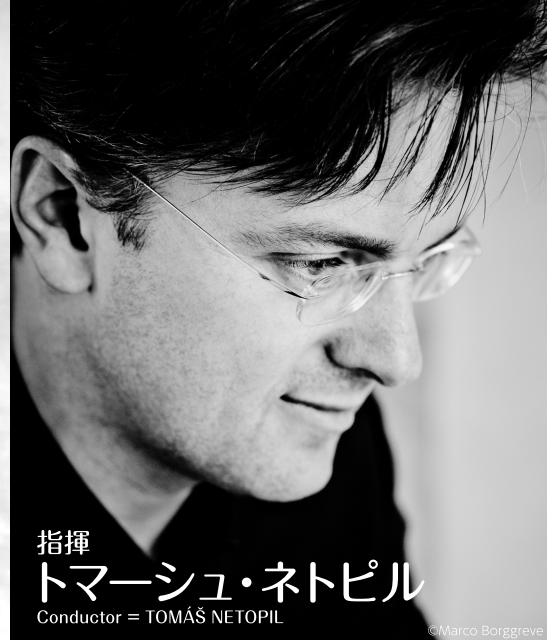
チェコを代表する作曲家レオシュ・ヤナーチェクの「シンフォニエッタ」は、ベストセラーとなった村上春樹の小説『1Q84』に登場して、爆発的な話題を呼び、日本でも一躍人気曲になりました。金管楽器による軍楽隊的なファンファーレの響きが印象的で、モラヴィア地方の民謡や民俗舞曲を用いた独自の世界観を持っています。土俗性の強い素材を用いながら都会的ともいえるハイセンスな響きが特徴です。

今回、ヤナーチェク作品を得意とするチェコの新鋭トマーシュ・ネトピルが、ヤナーチェク特有のサウンドを、ドラマティックに響かせるでしょう。トランペット12本が響く圧倒的なフィナーレをお楽しみください。

前半には、チェコの都市プラハにちなんだ2つのモーツァルトの作品を演奏します。歌劇「フィガロの結婚」のプラハでの大ヒットを受けて、モーツァルトは1787年1月にプラハに招かれます。その時に披露したのが、交響曲第38番「プラハ」。そして次にオペラの作曲を依頼され、同じくプラハで同年10月に初演し、大成功を収めたのが歌劇「ドン・ジョヴァンニ」です。

ネトピルは、ウィーン国立歌劇場でモーツァルト作品を多く指揮しており、この「ドン・ジョヴァンニ」序曲ではオペラ指揮者としての才能が遺憾なく発揮されるでしょう。また、モーツァルトの交響曲の中でも人気の高い傑作「プラハ」では、次々と変化する曲調を表情豊かに描きながら、モーツァルト作品の様式美を浮き上がらせます。

後半の1曲目には、フランスの名手アレクサンドル・タローを独奏に迎え、プーランクのピアノ協奏曲を披露します。プーランクは、“20世紀フランスのモーツァルト”と呼ばれるほど、優美で流麗なメロディとユーモアあふれる楽想が特徴の作曲家です。このピアノ協奏曲でも快活なオーケストラとピアノの目まぐるしい掛け合いが聴きものです。名手タローの歯切れ良いリズムと洗練された音楽性をご堪能ください。



指揮
トマーシュ・ネトピル

Conductor = TOMÁŠ NETOPIIL

©Marco Borggreve

シンフォニーとオペラの両方で国際的に活躍するチェコの俊英。2002年の第1回シュルティ国際指揮コンクールで優勝。プラハ国民劇場の音楽監督などを歴任し、現在ドイツの名門エッセン歌劇場とエッセン・フィルの音楽総監督、チェコ・フィルの首席客演指揮者を務めている。これまでに、ベルリン・フィル、バイエルン放送響、ウィーン響、ドレスデン国立歌劇場管、バリ管、ロンドン・フィルなどに客演。オペラではウィーン国立歌劇場、ドレスデン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場などで活躍している。ヤナーチェク、マルティヌー作品などを得意とするほか、モーツァルト、ワーグナー、R.シュトラウス作品などでも高い評価を得ている。今回、読響に初登場。



ピアノ
アレクサンドル・タロー

Piano = ALEXANDRE THARAUD

©Marco Borggreve

プログラムに冒険的なアプローチを取り入れ、楽壇に新風を注いでいるフランスを代表する名手。これまでに、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、バイエルン放送響、ロンドン・フィル、フランス国立管、リヨン国立管、フランクフルト放送響、チューリヒ・トーンハレ管、フランス放送フィル、ストックホルム放送響などと共演。パリのシャンゼリゼ劇場、ウィーン楽友協会など世界の一流ホールで演奏するほか、エクサン・プロヴァンス、ラ・ロック・ダンテロン、エティンバラ、BBCプロムス、シュレスヴィヒ・ホルシュタインなどの国際的な音楽祭にも定期的に招かれている。録音はエラート・レーベルなどから数々のCDをリリースし、いずれも高い評価を得ている。

読響日本交響楽団 第222回土曜マチネーシリーズ

2019年 **11月23日** (土・祝) 14時開演

(9月30日まで) S ¥7,500 / A ¥5,500 / B ¥4,500 / C ¥4,000
(10月1日以降) S ¥7,600 / A ¥5,600 / B ¥4,600 / C ¥4,100

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

【観覧料】東京芸術劇場には一時託児施設があります(公演1週間前までに予約)。わらべうた0120-415-306(予約受付:平日9時-17時)

【学生券】学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

【都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。】■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。■10月1日以降、消費税率が変更された場合、料金が変わります。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響日本交響楽団 第222回日曜マチネーシリーズ

2019年 **11月24日** (日) 14時開演

(9月30日まで) S ¥7,500 / A ¥5,500 / B ¥4,500 / C ¥4,000
(10月1日以降) S ¥7,600 / A ¥5,600 / B ¥4,600 / C ¥4,100

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296